

記入見本

(様式1)

2007年度「きょうと^{エコワン}ECO-1グランプリ」応募用紙①

団体概要記入用紙

取組名称		平成の二宮金次郎プロジェクト		
団体名称		江古田地区協議会		
団体 代 表 者	氏名	山田 一郎		
	住所	(〒604-0965) 京都府京都市中京区六丁目 283 番地 4		
	TEL	FAX	Eメール	
	075-211-8895	075-211-8896	center@kcfca.or.jp	
連 絡 窓 口 担 当	氏名	山田 二郎		
	住所	(〒) 同上		
	TEL	FAX	Eメール	
	同上	同上	同上	
一次選考を通過した場合、活動助成金交付を				
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> ○希望する 希望しない </div> <p style="text-align: right;">(いずれかに○をつけてください)</p>				

記入見本

(様式2)

2007年度「きょうと^{エコワン}ECO-1グランプリ」応募用紙②

取組紹介用紙

取組名称	平成の二宮金次郎プロジェクト	
団体名称	江古田地区協議会	
どんな取組ですか？（取組の概要）		
<p>地区で所有している入会の山林に生えている雑木を、毎年の山菜採り・きのこ狩りのイベントに合わせて整備（伐採）し、集めたものを、地区の集会所（学童保育などにも使用）にある薪ストーブで使用している。</p> <p>森林整備への参加を積極的に募るため、参加者には「江古田ポイント」を発行。毎年行われる地区の「ふれあい祭り」やフリーマーケットで金券として使用できる。</p> <p>現在、周辺地区にも同様の取組への参加を呼びかけており、一定の集材が見込めるようになった際には、江古田小学校講堂へのストーブ導入を予定している。</p>		
取組を開始した時期は？	2006年	9月頃
おもに取組を行っている場所は？		
江古田地区		
取組んでいる人たちは誰？		
江古田地区住民が主体となり、地元婦人会、PTA、小学校、〇〇市、NPO 法人「地球温暖化防止の会」などの協力を得て実施している。		
この取組の「自慢したいところ」は？		
<ul style="list-style-type: none">江古田地区の山林は、気候条件等から春秋には山菜やきのこなどの食資源に恵まれており、江戸時代より地区の入会として管理してきたが、近年手が入らず、このままでは雑木が繁茂しすぎて利用が難しくなるため、森林整備を促す仕組を工夫した結果、昨年度は計3回の実施で延べ120人が参加した。（地区の人口は150人）集会所ではこれまで灯油ストーブを用いていたが、薪ストーブに置き換えることにより、一冬200リットルの灯油使用を節減することができた。「江古田ポイント」の使用率は発行量の8割を超える。		

（裏面に続く）

この取組の温暖化防止効果は？（いくつでも）

家庭のエネルギー使用によって発生する CO₂ を削減できる。
 事業活動・ものづくりによって発生する CO₂ を削減できる。
 学校・施設のエネルギー使用によって発生する CO₂ を削減できる。
 交通において発生する CO₂ を削減できる。
 モノの輸送において発生する CO₂ を削減できる。
 ごみ焼却によって発生する CO₂ を削減できる。
 CO₂ 排出量の少ないエネルギーを普及できる（バイオマス・風力・太陽光など）。
 温暖化防止を担う人を育成できる。
 その他 {

【任意記入欄】 この取組によるおおよその二酸化炭素削減量は？（記入できる団体のみで結構です）

{ 500 } kg-CO₂/年

算出根拠（簡潔に）

{
 年間の灯油の使用削減量 200 リットル × 2.5（灯油の CO₂ 排出係数）
 = 500kg-CO₂
}

※CO₂ 排出係数は、4 ページをご覧ください。

本年度の活動スケジュール

月	内容
4	・ 協議会総会で活動方針を決定
5	・ 第一回森林整備大会（山菜採りイベントと同時）
6	
7	・ フリーマーケット（江古田小学校）
8	・ ふれあい祭り
9	・ 第二回森林整備大会（キノコ狩りイベントと同時）
10	
11	・ 薪ストーブ稼働開始
12	
2	・ 次年度の活動について検討

※団体の詳細や、取組の様子を伝える写真・資料等の添付を歓迎します。